

〈はじめに〉

おしっこ(尿)がどうやって作られ排泄されるか知っていますか？まず、腎臓という臓器に血液が入っていくとそこで濾されて尿ができます。その尿は、尿管という管を伝って膀胱にたまりま。通常膀胱は300ミリから500ミリの尿を貯め、これを排尿するとき全部排泄します。膀胱が正常な状態であれば、尿意を感じ始めて10〜15分くらいは我慢できます。しかし、過活動膀胱では、100ミリ前後の尿がたまると勝手に膀胱が収縮して尿意をもよおし我慢できなくなる状態になります(尿を漏らしてしまうこともあります)。つまり、過活動膀胱の症状は尿意切迫感(突然尿意を感じ、我慢できなくなる)、頻尿(尿の回数が多)、切迫性尿失禁(我慢できずに漏らしてしまうこと)です。読んで字のごとく膀胱が過活動を起こしてしまった状態と考えられます。2002年に国際禁制学会(International Continence Society)に定義された比較的新しい疾患です。

〈病因〉

過活動膀胱の原因は、神経疾患に起因する神経因性、明らかな神経疾患が見出せない非神経因性に大別できます。
神経因性過活動膀胱：脳血管障害、パーキンソン病、脳腫瘍、脊髄損傷、多発性硬化症、脊柱管狭窄症、変形性

脊椎症など、脳や脊髄にトラブルがあると、膀胱を支配する神経が思うように働かなくなり、過活動膀胱の症状が出現します。

非神経性過活動膀胱：①前立腺肥大症の50〜75%、②加齢とともに増加、③女性の骨盤底の脆弱化(出産経験のある人や肥満気味の人、腹圧性尿失禁患者の4割に過活動膀胱合併)、④特発性(女性に多い)などがあります。

〈疫学〉

2002年にわが国で行われた疫学調査では、過活動膀胱は40歳以上の成人の12・4%に見られ、男性13・1%、女性14・6%でやや女性に多い傾向が見られます。実数は810万人の罹患者がいると示されていますが、医療機関受診者は22・7%と低率です。これは、年をとると尿失禁や頻尿は普通のこと、病院に行つて相談することではないという考えがあるのではないのでしょうか？

〈診断〉

過活動膀胱の診断は、自覚症状で行われます。尿意切迫感(突然尿意を感じ、我慢できなくなる)が必須(週1回以上)です。頻尿(1日8回以上)・夜間頻尿(1晩1回以上)を伴うことが多いですが、切迫性尿失禁はあってもなくてもかまいません。過活動膀胱症状質問票が一般に用いられています。また、過活動膀胱と同じ症状を来しつる、他の疾患を鑑別除外する

ことが必要です。膀胱癌、膀胱結石、間質性膀胱炎、前立腺癌、細菌性膀胱炎、前立腺炎、尿道炎、多飲、多尿、心因性頻尿などがないことを確認しますが、検尿、血液検査(PSA、腎機能検査)、超音波検査程度で良く、難しい検査や痛い検査は必要ありません。

〈治療〉

過活動膀胱の治療は、抗コリン薬(膀胱収縮を抑える)の服用が中心ですが、かなり有効です。口渇、便秘、物がかすんで見える、めまいなどの副作用が出る場合がありますが、それほどひどい症状にはなりません。また、膀胱訓練や骨盤底筋体操などのトレーニングとの併用も有効です。

〈最後に〉

患者さんにとっては尿のことははずかしいこと、病院で気軽に相談しにくいこと、年をとればみんなそうなると言われるので、あまり口に出して言えなかったことだったと思います。事実、810万人予想患者数のうち、医療機関受診者は22・7%と低率となっています。しかし、過活動膀胱は簡単な質問表と簡単な検査で診断でき、治療も内服薬でかなり有効です。先日1日尿とリパットを10枚以上使っている方が内服開始したら1日1枚程度になりました。尿のことで困っている方、年だからとあきらめている方、一度、泌尿器科や主治医に相談してみたいかがでしょうか？

日曜・休日に実施している医療機関

午前10:00〜午後4:00

月日	場所	診療所名	科目	☎(048)	場所	診療所名	科目	☎(048)
10	3	志木 いわさき内科・循環器科	内・循	486-4622	朝霞	朝霞整形外科・外科	整・外・皮・放・リハ	461-5128
	10	朝霞 三浦医院	内・小・皮	461-3802	新座	せおクリニック	胃・内・外・肛	480-3905
	11	朝霞 北朝霞駅前クリニック	内	486-6333	志木	幸町クリニック	消・内・外・肛	485-5600
	17	朝霞 井財泌尿器科・内科クリニック	泌・内	487-8160	和光	恵クリニック	内・胃・皮	464-9893
	24	和光 門田医院	内・循・皮・小	461-6412	朝霞	眼科谷合医院	眼	462-2355
	31	朝霞 青柳診療所	内・消	465-5077	志木	かとう整形外科・リハビリテーション科	整・リハ	486-3770

※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。

